

## 母の戦略、私の成長

[テーマ③私の理想のリーダー像]

広島YMCA専門学校

ニン・ジャ・バオ〔ベトナム〕

リーダーシップとは、グループや組織を導くことではありません。リーダーシップはまず、自分自身をリードすることから始まります。目標を立て、計画し、諦めずに続けて、周りの人に良い影響を広げることです。私は小さい頃から、それを母という人生で最初で最高のリーダーから学びました。

成長すると、周りの人から「家事が上手だね」とよく褒められました。母はそれを聞くと声を上げて笑い、「この子は小さい頃、泣きながら『家事をやらせてください』とお願いしていたんですよ」と自慢げに話しました。最初は信じられませんでした。子供が泣きながら「お皿洗いをさせて」と言うなんて、どうしてあり得るのでしょうか？ 母に聞いてみると、その理由を教えてくださいました。

昔、私の町では、息子に家事を教えない母親も多かったですが、母の考えは違いました。母は私に主体的に、そして楽しく家事をできるようにってほしかったのです。

母はリーダーとして、計画を立て始めました。最初の戦略は、わざと私を困らせることでした。母はほんの数歩しか離れていないのに、塩や砂糖、鍋やざるを持ってきてと何度も頼みました。そしてそのたびに「すごいね！」と褒めてくれて、父にも「うちの子は頼りになるわ」と言ってくれました。私は少しずつ、自分が役に立っていると気付きました。

次の戦略は、私に「空腹」を与えることでした。役に立つ感覚への

「空腹」です。反抗的な日には、母はもう何も頼みませんでした。最初は遊べてうれしかったのですが、遊べば遊ぶほどむなしくなりました。母から信頼されず、役に立てない自分に気付いた時、ついに泣きながら「ママ、何かやらせて！」とお願いしたのです。当時の私はその意味を理解していませんでしたが、大人になった今なら分かります。母は押しつけるのではなく、導いてくれたのです。内面から動機を育て、「押す」と「引く」を上手に使い分け、そして普通の仕事を子供の誇りに変える方法を知っていました。それはただの愛情ではなく、リーダーシップの考え方、つまり目標を立て、方法を選び、見守り、調整し、励ますことでした。

母は私に仕事をさせるだけでなく、自分が周りにどんな価値を与えるかを考えるようにも教えてくれました。ある日、私は母に「A君はよく宿題を忘れて、先生に残されている」と話しました。すると母は「一人で勉強するのは寂しいよ。あなたが一緒に勉強して、それから一緒に遊んだらどう？」と言いました。次の週、担任の先生が家に来て「勉強ができるだけでなく、友達を助けることもできる」と褒めてくださいました。しかし、私は知っていました。これは母の導きによるものだと。

母はまた、自分自身をリードする方法も教えてくれました。ある晩、私は「勉強が終わった」と嘘をついて遊びに行きましたが、結局ベッドの明かりの下でこっそり勉強していました。母は気付きましたが、叱りませんでした。翌日、母と一緒に座り「算数からやるといいよ。その後に暗記科目をして、間に合わなければ朝早く起きて勉強すればいい」と教えてくれました。母は私に、リーダーシップは計画を立て、粘り強く実行することから始まると示してくれたのです。

リーダーシップを身に付けるためには、自分自身と家族のリーダー

になることが最初の一步です。その過程で、母は私の失敗を受け入れ、自分や他人の失敗にも優しくすることを教えてくれました。「私も皿洗いを習い始めた時は下手で、誰でも皿を割るものよ。完璧な人なんていない。大事なのは、間違いを知って直すこと」と母は言いました。母は、私が大人になったら、自分の失敗にも他人の失敗にも優しくなれることを願っていました。

次のステップは、「役に立ちたいという空腹」を持つこと。日々の小さな行動を通じて周りにポジティブな影響を広げることです。

私たちは一人一人、自分自身のリーダーとして成長していきます。千里の道も一歩から。まずは計画を立て、努力することです。毎日の努力が、私たちを少しずつ良くしていきます。私が近い将来、小さな家族のリーダーになったら、子供に正しい生き方を教えるだけでなく、価値や心の遺産を次の世代に伝えていきたいです。

私たちは皆、この世界の大切な一片です。リーダーになったら、自分の失敗や後輩の失敗に優しくしましょう。なぜなら、あなた自身もかつては後輩だったからです。心の奥では、誰もが人を幸せにしたいと願っています。少し立ち止まって考えてみてください。計画を立て、努力して、正直に誠実に生きてきたなら、あなたはもう自分自身のリーダーであり、周りに良い影響を与えているのです。

まずは自分から始めて、自分の人生をリードしましょう。 